

平成21事業年度

# 決算報告書

自：平成21年4月 1日

至：平成22年3月31日

国立大学法人新潟大学

平成21年度 決算報告書

国立大学法人 新潟大学  
(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	17,380	19,963	2,583	(注1)
施設整備費補助金	2,097	3,601	1,504	(注2)
補助金等収入	241	2,559	2,318	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	79	79	0	
自己収入	26,725	27,091	366	
授業料, 入学金及び検定料収入	7,416	7,345	△71	(注4)
附属病院収入	19,038	19,417	379	(注5)
雑収入	271	329	58	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,307	5,387	3,080	
産学連携等研究収入	1,429	1,932	503	(注7)
寄附金収入	878	3,455	2,577	(注8)
長期借入金収入	3,067	3,016	△51	(注9)
承継剰余金	0	32	32	(注10)
目的積立金取崩	0	2,181	2,181	(注11)
計	51,896	63,909	12,013	
支出				
業務費	38,131	40,861	2,730	
教育研究経費	19,793	18,835	△958	(注12)
診療経費	18,338	22,026	3,688	(注13)
一般管理費	3,432	3,828	396	(注14)
施設整備費	5,243	6,697	1,454	(注15)
補助金等	241	2,540	2,299	(注16)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,307	2,829	522	
産学連携等研究費	1,429	1,870	441	(注17)
寄附金事業費	878	959	81	(注18)
貸付金	0	2	2	(注19)
長期借入金償還金	2,542	2,526	△16	(注20)
計	51,896	59,283	7,387	
収入-支出	0	4,626	4,626	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、平成20年度の退職手当及び特別教育研究経費等の予算残を繰り越したため、予算額に比して決算額が2,583百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業計画の変更等により、予算額に比して決算額が1,504百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、新規経費の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が2,318百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料免除の拡大及び入学者の減少等により、予算額に比して決算額が71百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、中央診療棟の開院や患者数の増加に努めたこと等により、予算額に比して決算額が379百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、消費税の還付等により、予算額に比して決算額が58百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入については、産官学連携推進に努めたこと及び前年度から繰り越した額を決算額に計上したため、予算額に比して決算額が503百万円多額となっています。
- (注8) 寄附金収入等については、産官学連携推進に努めたこと及び前年度から繰り越した額を決算額に計上したため、予算額に比して決算額が2,577百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金については、事業計画の変更等により、予算額に比して決算額が51百万円少額となっています。
- (注10) 承継剰余金については、20年度の予算残を繰り越したため、決算額が32百万円多額となっています。
- (注11) 大学の戦略上、機動的に資金を投入したため、決算額が2,181百万円多額となっています。
- (注12) 教育研究経費については、採用者が見込みより少数であったこと等により、予算額に比して決算額が958百万円少額となっています。
- (注13) 診療経費については、中央診療棟の開院や補正予算による設備等整備、学内融資制度の設備投資に伴う一時的な費用の増加等により、予算額に比して決算額が3,688百万円多額となっています。
- (注14) 一般管理費については、省エネ設備の導入や保育所の整備、環境整備に伴う一時的な費用の増加等により、予算額に比して決算額が396百万円多額となっています。
- (注15) 注2に示した理由により、予算額に比して決算額が1,454百万円多額となっています。
- (注16) 注3に示した理由により、予算額に比して決算額が2,299百万円多額となっています。
- (注17) 産学連携等研究費については、予算額に比して支出が増加したため、決算額が441百万円多額となっています。
- (注18) 寄附金事業費については、予算額に比して支出が増加したため、決算額が81百万円多額となっています。
- (注19) 貸付金については、学生への貸与が見込みを上回ったことにより、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注20) 借り入れる時期や利率が予算積算上と異なることによって生じる差額等により、予算額に比して決算額が16百万円少額となっています。